学校教育目標「磨かれた知性　しなやかな心　すこやかな体を持ち　将来を豊かに生きる力を身に付けた生徒を育成する」

時中だより

令和５年の漢字
結

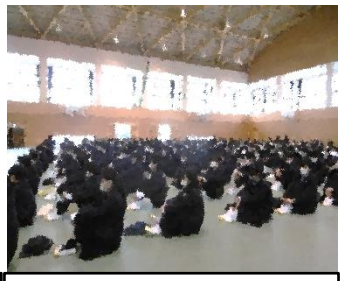
学校だよりコーナー

時津町立時津中学校
令和５年度学校だより１号
令和５年４月７日発行
文責：校長・副校長

令和５年度　時津中学校の幕開け！！

４月６日（木）雨にも負けずに、新２・３年生が元気に登校してきました。新年度の初日は、新しい学級の発表、担任の先生の発表があり、ドキドキとワクワクが入り混じりながらの登校だったことと思います。転校生も含め、新しい仲間とのスタート！！一体どんな一年間になるか私たちもドキドキワクワクしています。

始業式校長式辞



真剣に話を聞く生徒

新しい学級に入った後、体育館で着任式と始業式を行いました。

着任式では新しい教職員との出会いもありました（詳しくは、本日着任のお知らせを配付していますのでご覧ください）。歓迎のあいさつでは、３年生の西村実詩さんが、「今日、新しい先生方をお迎えして、新しいスタートを切る喜びと期待で胸がいっぱいです。何より時津中が誇れることは、明るく思いやりがあって、親しみやすい生徒が多いことです。赴任されたばかりで学校の様子がわからない時には、どうぞ私たちにお尋ねください！」と素敵な笑顔で頼もしいあいさつをしてくれました。

始業式では、３年生代表の坂本日向美さんが「私たち３年生は団結力や思いやりがあり、嫌なこと辛いことがあっても全員で乗り越えることができる最高の学年です。さらに成長し、この学年で時津中学校の歴史に残る一年間をつくりあげていきましょう！」２年生代表の入口蒼大さんが「一年後、私たちは３年生になります。そこに向けて、何事にも挑戦して様々な経験を積んだり、先輩から学んだりして、力を蓄え、自信をもって３年生へ進級できるようにしましょう！」と新年度に向けての意気込みを発表してくれ、期待が高まりました。

歓迎の言葉

３年生代表

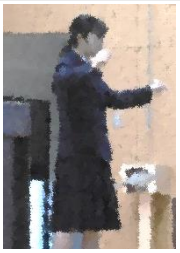
２年生代表

そして、校長式辞では、小河原校長が思いを込めながら生徒に向けて話をしました。今までの時津中をさらに超えるような素晴らしい学校にしたいという思いが込められていました。

通いがいのある学校にしてほしい。通いがいのある学校にするためには「一年後、どんな自分になっていたいか」「一年後、どんな学級になっていたいか」など、なりたい自分を考えましょう。そして、最終的には、「この学校・学級でよかった」と思えるように、自分自身が、同じ学級や学年の友達と積極的に関わりながら、明るく楽しい生活を送ってほしいと思います。

学校生活を明るく楽しく送るためには、時中のめざす生徒像にある「思いやりのある生徒」、お互いが思いやりの気持ちをもって接することが大切です。「心は誰にも見えないけれど、思いやりは誰にでも見えます」というフレーズを聞いたことがあるでしょうか。ぜひ、皆さんには自分以外の人に対し、思いやりの心をもつ生徒になることを切に願っています。

最後には、みんなで校歌を歌いました。指揮の濵崎美友さん、ピアノの西村瑠夏さんに合わせた歌声は、これからの時中の未来への始まりを知らせるファンファーレに聞こえました。



一年間、教職員一丸となって時中を盛り上げていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いします！